

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：平成31年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービス ラディアントスキップ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動室・学習室(相談室)を別に設けている	現在の活動スペースを考えると10人定員が適当であり、今後は活動室内の掲示環境等を整えていきたい
	2	職員の配置数は適切である	○		10名の利用者に対し通常4名の職員を配置	公園等への外出の際は5名の職員を配置している一人の職員が二人ずつ手を繋げる体制で向かっている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	配慮を要する利用者には必ず職員が1名つく	玄関に20cmの段差があり現在のところ改修は難しい今後バリアフリーについて改善を検討していきたい
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝夕のミーティングにおいて全職員でPDCAに取り組んでいる	毎日の活動についてだけでなく、個別支援計画の立案や評価についてもできる限り全職員で検討、確認を進めたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年1回保護者アンケートを実施し、業務改善に生かしている	アンケート結果をもとに改善を図ろうと職員間で話し合いを持つが、なかなか良いアイデアが浮かばないこともある 他の施設の活動からも学んでいきたい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		自己評価結果は今年度からHP上に公表する	保護者評価結果、自己評価結果を公表し、広く利用者さんや他の皆さんに周知していきたい
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	社内において他施設の職員による評価、アドバイスをを行っている	第三者による評価は実施していないので今後検討していきたい 第三者のメンバー構成、評価の仕方等について検討していく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部研修、社内研修、積極的に参加している	今後も外部で行われる研修に積極的に参加したい各施設ごとに行う勉強会をもう少し充実させたい
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		契約時のアセスメントを丁寧に、計画の作成に生かしている	アセスメントによる情報を全職員に周知し、そのうえで個別支援計画の作成や日々の支援に向かっていきたい
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		現在は厚労省が勧めるアセスメントツールを使用している	現在、今のアセスメントツールをもとにさらに使いやすいものにならないか各施設の児発管が集まり検討を進めている より良いものにしていきたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援員主任を中心に全職員でプログラム立案を行っている	これからも全職員で共通理解を図りながら活動プログラムの立案を行っていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動がマンネリ化しないよう配慮している	毎日コツコツと続けたい活動もあり、マンネリ化しないよう考えるうえで苦悩もあるが、みんなで知恵を出し合い克服していきたい
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日、休日を意識して活動内容を工夫している	平日は運動、生活訓練、学習の三つの柱で療育活動を行っている 休日はそれに加え調理実習、戸外活動、社会見学、音楽療法等を取り入れている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動、集団活動を常に意識して計画を作成し支援を行っている	集団での活動が苦手な子どもも多く、集団活動にどのように参加していくかめあてと手立てを十分に検討し日々の療育に向かっていきたい
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝必ずミーティングを行いその日の活動や個別の支援について確認している	毎朝のミーティングは今後も大切にしていきたい 全体の活動、職員の役割分担、個別の支援の在り方と役割分担等きちんと確認して療育に向かいきたい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		一日の終わりに必ずミーティングを行い、振り返りを行っている	毎日の支援終了後のミーティングもこれまで通り大切にしていきたい 良さや反省点を次に生かしていけるような振り返りをしたい
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳と活動日誌によって記録している	個別の連絡帳は職員が分担して記録しているが、それを終わりのミーティングで確認し合うことを大切にしていきたい
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている	定期的なモニタリング、計画の見直しを今後もきちんと進めたい さらに2年、3年という長い期間の利用者に対しては必要に応じて再アセスメントも行っていきたい
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	○		活動が偏らないようバランスを考え活動を仕組んでいる	ガイドライン総則の基本活動を常に意識して活動計画を作成し、個の成長、自立をめざして支援を行っていきたい	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	その子に最も精通した職員を中心に複数の職員が会議に出席している	サービス担当者会議には、基本的に児発管とその子に最も精通した職員の2名の参加で向かいたい 一人の利用者さんを偏った見方でなく多面的に見て話をしたいと考えている
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	主に各学校への送迎時に、子どもの学校での様子や特別な連絡事項がないか担任の先生から情報を得ている	各学校の年間計画や行事予定はHPから情報を得ている 予定変更などの情報を得たときには、学校に直接確認するようにしている 利用者の翌月の施設利用予定(お迎えの予定)は、月末までには各学校にお知らせしている 今後も各学校との正確な連絡調整に心がけていきたい
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	母親を通して主治医からの指示、配慮事項等の情報を得ている	現在、医療的ケア、配慮が必要と思われる利用者は1名で、母親を通して手術、入院時の様子や、主治医からの指示、リハビリの様子等の情報を得て、支援に生かしている 今後も今の形で連携を図っていきたい
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	スマイルブックを有効に活用している	必要に応じてスマイルブック(成長の記録、療育・特別支援教育の記録簿)をお借りして、障がいや療育・特別支援教育に関する情報を得ている 今後も保護者の理解のもと有効に活用していきたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	弊社生活介護「スケッチ」と連携を密にし、情報提供を心がけている	現在、三施設から高等部を卒業する生徒のほとんどが弊社生活介護「スケッチ」を利用されている 生活介護スケッチの利用に当たり個々に伝えなければならぬことを正確に伝えられるよう意識している 今後他施設を利用する場合でも同様に情報を提供していきたい
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	児童発達支援センター等の専門機関が行う研修会等にできる限り参加している	児童発達支援センター等の専門機関や大垣市障がい福祉課が主催する様々な研修会に積極的に参加できるよう心がけている こうした研修の機会に個人的にアドバイスを求めることも意識していきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	障害のない子どもとの交流、活動ができないか職員間でよく話し合っている	保護者アンケートでも「そういう機会は少ない」と出ていた これまで意図的にそういう活動を行ったことは少ない これから職員で話し合いなんとかそういう活動を実現させたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	自立支援協議会参加の案内をいただいたときには必ず参加している	今後も積極的にこうした会に参加したいと考えている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	自宅への送迎の際、子どもの姿を伝え合い共通理解を図っている	連絡帳でその日の利用者さんの様子をていねいに伝え、同時に送迎時、頑張った姿や課題と思われる姿を言葉で伝えることで子どもの姿や療育について共通理解を図っていきたい
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	保護者会の時、講師を招き障害や子育てという視点からお話をしてもらっている	保護者会などの特別な会以外でも、子育てや障がいについて保護者に対して積極的にアドバイスをしていきたい	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約の際、十分時間をかけて説明している	報酬改定等により利用者負担額に変更がある場合には、その都度丁寧に説明していきたい また、施設の運営規程の変更なども必要に応じて丁寧に説明していきたい
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	保護者の悩み等の相談にはできる限りの対応を行っている	いろいろな相談に対し、我々が持つ専門的な知識・経験や、職員自身の子育ての経験をもとに、保護者に寄り添い助言やアドバイスを続けていきたい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	年に1回ラディアント放課後デイ4施設合同で保護者会を開催している	毎年保護者会を開催しているが、参加者はあまり多くなく、今後保護者会の持ち方について検討し改善していきたい 療育参観、各施設での親子行事など検討していきたい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情等があった時には、その情報を全職員に伝え対応について考えることを徹底している	どんな苦情もすぐに全職員にオープンにすること そして全職員で対応について検討し、迅速に動くこと 謝罪等が必要な場合、少しでも早く謝罪に向き誠意をもって謝罪すること 事後の報告をすること これらを今後も徹底していきたい
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	毎月1回活動の様子を新聞で伝えている また毎週HPで活動の様子を伝えている	毎月1回発行の新聞、週に一回くらいのペースで更新しているHP上の活動ブログ、これを今後も継続していきたい
	35	個人情報に十分注意している	○	個人情報の取り扱いには十分注意している	今後も個人情報の管理に細心の注意を払ってきたい
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	毎日の連絡帳ではわかりやすい表現で伝えるよう意識している	毎日の連絡帳、月に一回発行の新聞、いずれも読み手にとってわかりやすい表現や言葉を意識していきたい
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	年に1~2回地域清掃ボランティア活動を行っている	事業所として町内会に所属し、年に1~2回清掃ボランティア活動を行っているが、今後さらに活動の在り方について検討していきたい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	全ての対応マニュアルを整えている	全ての対応マニュアルを整えているが、保護者に対して周知という点ではまだ徹底できていない。利用者、保護者への周知に力を入れていきたい
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	年に2回地震火災避難訓練と水難避難訓練を実施している	今後も年に2回の避難訓練を実施していきたい。形だけに終わらないよう子どもたちにも意味を理解させ真剣な態度で行わせたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	全職員対象の虐待防止研修会を実施している	今後も社員研修の一環として社内の虐待防止研修会を実施していきたい。県主催の研修など社外での研修にも積極的に参加していきたい
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	現在その対象となるような利用者はいない	今後やむを得ず身体拘束が必要になる場合には、きちんと手順を踏み、さらに日々の様子をきちんと保護者に伝えることを意識して進めていきたい
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	アセスメントで食物アレルギーについて確認している	今後も食物アレルギーについてはきちんと確認し保護者の指示(医師の指示書)に沿って対応していきたい
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリハット、事故報告書を作成し共有している	ヒヤリハット報告書、事故報告書を作成し事業所内で常に話題にし共有している。同時に管理職に報告している。今後もこの形を継続していく